

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣



令和八年三月度 入賞句一覧

投句数 千三百六十五句

特選

高木 佐知子 選

じまんげに書きぞめながめめちやうまい

大垣市

高田 咲良（小四）

書き初めの作品が、壁にずらりと掲示してある所で足を止め、作品に見入っている作者の姿が目には浮かびます。上五の「じまんげに」という言葉から自分の作品を改めて見ていることもわかります。決意を込めて力強く一生懸命に書いた書き初めを見て、思わず「めちやうまい」とつぶやいたのでしよう。作品を見つめる明るい笑顔が自然と浮かぶ一句です。

はつもうではちまんさんにぎょうれつだ

大垣市

まつなが りくた（小二）

大垣まつりなどでにぎわう八幡神社のことを、親しみを込めて「はちまんさん」と言われることがあります。一年中お参りをする人が絶えない神社の一つですが、普段は静かな神社です。しかし、初詣には多くの人が列に並んでお参りをするための順番を待つのでしよう。はちまんさんにできた行列を見て驚いた作者は、家族と一緒に最後尾に並んだのかもしれないね。

春の日に友のダジャレで時止まる

大垣市

高田 帆乃（小五）

春が感じられる暖かい日に友だちと遊ぶのは楽しいものです。外遊びでも室内遊びでも、どんな遊びをしてもワイワイがやがや笑い声が絶えないでしょう。そんな時、誰かがダジャレを言った瞬間、みんなの動きが止まったことを「時止まる」と表現したところが面白いです。日常の何気ない瞬間に俳句の種を見つけた一句です。

秀逸

うちのにわうぐいすとまるわくわくだ

大垣市

佐藤 咲帆（小二）

花見酒顔赤くなるおじいちゃん

加茂郡川辺町

加藤 龍之介（中二）

春の日にくるとまわるほした服

大垣市

柳瀬 才嬉（小六）

じよやのかねついて今年もいい年だ

大垣市

古川 寛人（小三）

にじゅうとびこはるびよりのそらのした

大垣市

新道 もえ（小四）

おばあちゃんみかんのすじをとる係

大垣市

土屋 新（小三）

さくらもちおとうとぼくのぶんたべた

大垣市

川合 是徹（小三）

初桜とてもきれいで手をのばす

大垣市

よこた みのり（小三）

しゃぼん玉やさしい空にきえていく

大垣市

なかしま ももか（小三）

クローバーひとつねがいかなうんだ

大垣市

大橋 幸芽（小三）

入選

小中学生の部

| | | | |
|----------------------|---------|------|---------|
| ごみばこはティツシユがあふれ花ふんしょう | 大垣市 | たまだ | るな(小二) |
| おひなさまママがつくつたきものきて | 大垣市 | 森名 | ゆみ(小一) |
| ミニよんくコースアウトのはるのあめ | 揖斐郡揖斐川町 | 栗野 | 櫻大(小三) |
| いもうとは海苔だけたべるてまきずし | 大垣市 | 久保田 | 康大(小六) |
| もう咲いたあわてんぼうな桜の木 | 加茂郡川辺町 | 坪内 | 汰樹(中一) |
| 大好きなキャプテン送る卒業式 | 加茂郡川辺町 | 田原 | 惇輝(中一) |
| 余寒あり上着に深く顔うずめ | 加茂郡川辺町 | 遠藤 | 優香(中一) |
| うぐいすの声に目覚める白い朝 | 加茂郡川辺町 | 加藤 | 凜太(中一) |
| ひなまつりふたりのうたがきこえるの | 大垣市 | きた川 | りこ(小一) |
| ひなまつりにんぎょうたちもうれしそう | 大垣市 | いちかわ | りこ(小一) |
| はるがきたつちになかからめがのぞく | 大垣市 | うえの | かえで(小一) |
| ゆきのあとぼりぼりふんであるいてく | 大垣市 | みやざわ | きお(小一) |
| もう春だ前より少しお姉さん | 大垣市 | 小林 | 柚巴(小六) |
| はるかぜが木をやさしくねなでていく | 大垣市 | 西山 | 由菜(小四) |
| 春風が体を通るピクニック | 大垣市 | 伊藤 | 想乃(小四) |
| 枝垂桜ピンクの雨がふりかかる | 大垣市 | 奥野 | 貴大(小四) |
| ふゆのそらかすかにみえるあさのつき | 大垣市 | 加納 | 桜弥(小四) |
| じでんしやでていぼういつてさくらみる | 大垣市 | 田中 | そうま(小四) |
| シャボン玉大きな円ができるかな | 大垣市 | 高川 | あづき(小三) |
| うぐいすが鳴くころ木々も動き出す | 大垣市 | 森川 | 陽(小三) |

選者吟

春風や口笛真似てわらべ歌

佐知子

※投句時点(令和七年度)の学年で表示しています

